

第 1 回安来市下水道使用料等審議会 議事録

日時：令和元年 8 月 23 日 14:00～

場所：安来庁舎 3 階 防災対策室

○出席者

出席委員 9 名

吉村委員、富田委員、江戸委員、若狭委員、岩見委員、長島委員、鈴木委員、真野委員、山根委員

欠席委員 1 名

蒲生委員

安来市

近藤市長、池田上下水道部長、高家上下水道部次長兼下水道課長、長谷川主査、松浦管理係長、平野計画係長、池田主任

○配布資料

会議次第、席次表、委員名簿、安来市下水道使用料等審議会条例
安来市下水道使用料等審議会資料第 1 回（別冊）

辞令交付

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 委員、事務局紹介

- ・各委員、事務局より自己紹介
- ・審議会条例の説明及び会議成立報告

4. 会長及び副会長の選任

- ・会 長 真野委員
- ・副会長 鈴木委員

5. 会長あいさつ

- ・真野会長あいさつ

6. 市長諮問

諮問後、市長退席

7. 議事

事務局

議事の前に、当審議会は市の附属機関で『公開』が原則であり、議事録については会議後調整をし、各委員からの発言内容については個人名を伏せた形で、ホームページ上で公開をする。
また、議事録作成のため録音をするので、了解をお願いします。

日程 7) 議事 条例第 5 条により、会長に進行をお願いします。

議長

議事録署名の委員、吉村委員 江戸委員 2 名を指名する。

議長

議事に入る前に、今後の審議日程などを事務局からの説明を求める。

事務局

今後の会議の進捗にもよるが、今回を含めて 4 回程度を予定している。

	本日の会議では下水道事業の現状や課題などを説明し、次回の会議では将来の経営見通しを基に、使用料改定の具体的な数字を事務局より提案をする。その後2回程度の会議を開催し、12月には答申をお願いする。
議長	異議はないか。
	異議なし
議長	仮に審議会から改定に向けた答申があった場合は、その後のスケジュールはどうか。
事務局	12月に改定に向けた答申があれば、1月にパブリックコメントを行い3月の市議会で説明をし、翌年度の6月議会で料金改定の上程を考えている。市議会で議決を得れば、翌年度10月から新料金で行う予定としている。
議長	意見はないか。
	意見なし
	議事に入る
	1) 安来市の下水道事業の概要 2) 安来市の下水道事業の現状 3) 安来市の下水道事業の課題 4) これまでの経営改善の取組 5) 下水道使用料の原則と現在の料金 6) 下水道使用料の検討手順 7) 今後のスケジュール について事務局より説明を求める。
事務局	1)～7)を別紙資料により説明
議長	事務局より説明が終わり、10分の休憩

8. 審議・質疑

議長	議事を再開し委員から意見を求める。 説明のあった順番で、3つに区切って進める。 1) 下水道事業の概要 2) 下水道事業の現状 について意見を求める。
委員	9ページの老朽化の対策については、経費はどれくらい見ているか。
事務局	農業集落排水以外は調査や診断を行っていないため、具体的な金額は今のところ把握していない。ただし、経営見通しでは概算で計画したものを今後提案をしていく予定である。
委員	概算でよろしいので、次回説明をお願いする。
委員	4ページの浄化槽市整備で水洗化率は100%で普及率は40%台となっているがどのようなことか。
事務局	浄化槽市整備は市民からの申請により事業を行い、設置後すぐに使用されるが、申請をされない方については未整備の状況である。
議長	他に意見がないので、3) 下水道事業の課題 について意見を求める。
委員	14ページの説明で汚水原価の減少は大口需要が少なくなった為と聞いたような気がするが、どのようなことか。
事務局	大口需要が少なくなった影響は使用料単価についてであり、汚水原価には影響はない。また、汚水原価が下がった要因は、統計調査上で起債償還の不足額を控除して計算をした為であり、実質の汚水処理費はさほど変動はない。

委員 事務局	<p>14ページと15ページの数値が合わないは出典元が違うことか。</p> <p>14ページは本市の汚水処理施設全体の数値を表したもので、15ページは他市との比較のため、公共下水道のみを表したものである。</p>
委員 事務局	<p>経費回収率のかなり低い市があるが、問題なく経営ができるか。</p> <p>県西部において回収率や普及率は低く、今後の整備についてはかなり厳しい状況と伺っている。</p>
議長	<p>他に意見がないので、残りのものについて意見を求める。</p>
委員 事務局	<p>20ページの改善の取組の人件費の削減で、一人当たりで考えると800万円とやけに高い気がするが。</p> <p>給料だけではなく社会保険料等を含んだものである。</p>
委員 事務局	<p>全体の中でどこが問題なのか、重要なポイントはどこか。</p> <p>19ページの3点で、一つは人口減少により料金収入が減ること、二つ目には施設の老朽化により今後も多額な工事費がかかること、三つ目に市からの繰入金が増加傾向にあり、一般会計を圧迫している事である。</p> <p>また、国も公営企業の基本である独立採算制をより重視し、可能な限り経営改善を図るよう指導している。</p>
委員 事務局	<p>公営企業の基本に近づけるために、現状をあてはめるとどのようにアンバランスなのか資料の提出をお願いします。</p> <p>今後、提出する。</p>
委員 事務局	<p>都会では公営企業の民間参入の動きがあるようだが、地方でも民間の力を借りるような動きはあるのか。</p> <p>国は地域の実情に応じて民間参入を進めているが、地方においては不採算な事業体への参入は難しいのが現状である。また、国は近隣自治体との広域連携も進めており、場合によってはできるものから検討の必要もあると考えている。</p>
議長 事務局	<p>諮問の中で前回の改定から11年が過ぎたとあるが、前回の経営見込みと現状との乖離がわかる資料がないか。</p> <p>手元に資料がないので詳しい事は言えないが、一般会計からの繰入金についてはかなりの開きがあると認識している。</p>
議長 事務局	<p>今回の審議会では、何年のスパンで経営見通しと料金を検討するのか。</p> <p>経営見通しでは10年のスパンで予測を立て、料金については今後3年のスパンを考えている。</p>
議長	<p>資料は歳入だけではなく歳出もわかるものがほしい。こまかく分類したのではなく一目でわかるような資料の提出をお願いします。</p>
委員 事務局	<p>収支のバランスが簡単にわかる資料が必要である。</p> <p>次回の会議で提出する。</p>
委員 事務局	<p>健全な経営とは、どのような考え方なのか。例えば繰入金に頼らない独立採算を目指すのか、あるいは繰入金をできるだけ少なくしていくのか、事務局の考え方を教えてほしい。</p> <p>完全な独立採算を考えれば、かなりの値上げとなり市民生活に大きな影響を与えるため現実的ではない。今回は、料金収入で賄わなければならない繰入金をいかに0に近づけるか、その努力が今は必要と考えている。</p>

委員	水洗化率を接続率として考えてよいのか。
事務局	接続率については人口比で計算するものと、世帯数で計算するものがあり、水洗化率は全国的に公表されており他との比較が可能なことや、利用する人数で使用料は左右されれば、人口比を用いた方が妥当であると判断し、資料を作成した。
委員	これまで接続率については、あの家は接続している、していないなど話になっており、基本料金部分には接続戸数は影響があるので、戸数で考えるのが話がかみ合う。
事務局	検討する。
議長	他に意見を求めるが意見がなく、議事を終了する。

9. その他

- ・次回開催日 10月4日(金) 午前9時30分～ (別途通知)
- ・事務連絡 委員報酬について

10. 閉会

- ・池田上下水道部長

以上15:50閉会